

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第41号（令和5年12月20日）

キャリア教育

汗と涙の6か月間

（私の職場体験学習）

前号（スマイル第40号）で、玉中学校2年生の「職場体験学習報告」についてお話ししました。あと少しで中学生になる6年生のみなさんには、仕事をすることで社会のルールやマナーを知ったり、やりがいやつらさなどを感じたりと【社会に触れる】経験をした先輩たちの【小学生の頃とは違う少し大人の雰囲気】の言葉や態度に、あこがれをもった人もいたでしょう。

玉中学校のみなさんの話を聞きながら、「自分も職場体験に行ったよなあ」と思い、その時に感じたこと、今でも大切にしていることなど、玉小学校のみなさんに知ってほしい、考えてほしいことを書きたいと思います。

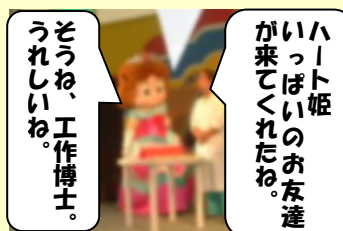
私は、学生時代はいろいろなアルバイトをしましたが、大学を卒業してからはずっと、学校で働いています。（今年で37年目になります）ただ1度だけ、学校以外で働いたことがあります。それがこのあとに書いてある「汗と涙の6か月間（私の職場体験学習）」のお話です。

私は、平成15年4月1日から9月30日までの6か月間、岡山県教育委員会がおこなっていた「教員の長期社会体験研修」に行きました。（今はもうこの制度はないですが、当時は、岡山県内の小・中・高校の先生の中から40名ほどの方が、6か月間、学校を離れ、いろいろな事業所で働きました。

私の配属先は「おもちゃ王国」でした。

4月1日、多くの若い新入社員の方々と一緒に「入社式」に参加しました。（あとで新入社員の方々に聞いたところ「こんなおじさん、入社試験の時にはいなかったよなあ」「どこのおじさんだろうか?」と思っていたそうです）

入社式の後で「マナー」について、東京から来られた方に1日かけてみっちり教えてもらいました。印象に残っているのは、その方から教えていただいた「顧客満足（こきやくまんぞく）」という言葉でした。その時に、こんなことを言われました。みなさんも考えてみてください。



そうね、工作博士。うれしいね。

ハート姫
が来てくれたね。

「自分の家からほぼ同じ距離にあるコンビニに乾電池を買いに行く」とします。

A：店員さんがぶすっとした顔で「ありがとう」も言わないコンビニ

B：店員さんがいつもニコニコとした笑顔で応対してくれ、「ありがとう」も大きな声で言ってくれるコンビニ

あなたならどちらのコンビニに行きますか？

「お客様に満足していただくのは、モノではなく人なのですよ。」と言われ、私は「顧客満足」をこの6ヶ月の研修のテーマとしました。

毎日、何百人、時にはもっと多く来園されるお客様に対して・・・

○笑顔で接すること ○心を込めてあいさつをすること
を実践しようと思いました。

4月2日から、おもちゃ王国イベントホールでの接客が始まりました。毎月、内容が変わるイベントや自分で企画した1日限りのイベントの準備・実施・片付けなどで6か月があったという間に過ぎました。

その中で感じたことは…

(どの学年の人にも大切なことだと思います)

○あいさつ

おもちゃ王国の営業は10時からでしたが、私は、社員の方々と同じ出勤時間だったので、朝8時には出勤していました。もちろん「おはようございます」の一声から始まります。

営業が始まると「いらっしゃいませ」「こんにちは」などすれ違うお客様全てに言います。何百回も言う日もありました。また小さなお子さんには、手を振りながら言います。最初は恥ずかしかったけれど、すぐに慣れました。「こんにちは」と言って、お客様から返ってきたときや手を振り返してくれたときのうれしさは格別なものでした。

私が担当していた仕事は、イベントの「ゲームコーナー」での接客でした。お金をもらってゲームをしてもらい、景品を渡しました。ほとんどのお客様が楽しんでくれたと思いますが、中には「タダでゲームをさせろ」と言う大人やゲームで失敗しても「景品をくれ」と無理なことを押し通す大人、参加賞をわしづかみにして帰ろうとする大人などもいました。最初に決めた「顧客満足」がゆらぎそうになった時もありました。そんな時に私をいやしてくれたのは、お客様からの「ありがとう」の一言でした。「お金を払ってゲームをしているのだから、ありがとうなんて言わなくてもいい」と感じる人もいますが、この言葉も格別なうれしさでした。「おじさん、ありがとう」と言ってくれた子ども達はきっと「お家の方が普段から言っているんだろうなあ」と思いましたし、「ありがとう」と言ってくれた大人の方は、「その方の人柄がにじみ出ているなあ」とも思いました。

みなさんには、「おはよう」「ありがとう」などの言葉で、お互いが気持ちよく生活できることを改めて伝えたいです。

○一人三役

社長さんがよく「一人三役」と言われていました。それは自分の役割を果たすのは当たり前ですが、その他に「今、自分に何ができるのかを考えて行動する」ことが大切だということです。例えば“ライド”と言われる乗り物の操作をする方々が、お客様がいない時間には、周りの草取りをするような光景をよく見ました。

みなさんには、自分のために、周りのために何ができるのかを考え、行動することが大事なんだと改めて伝えたいです。(家や学校での生活すべてにあてはまりますね。学期ごとのめあてづくりもその一つです。)

○安心・安全

おもちゃ王国は午後5時に閉園し、その後は数チームで各パビリオンの片付けをします。時間にして2時間弱。数百、数千に及ぶおもちゃの部品をひとつひとつ調べます。電池が無いようなら取り替えたり、ブロックのプールに異物が入っていないか確かめたり、人形の髪をブラシでとくしたり…すごく念入りにおこない、朝、開園した時の状態に戻します。それは「次の日のお客様に安心して遊んでいただきたい」という「おもちゃ王国の一員としての誇り」を誰もがもっているように感じました。

みなさんには、「自分(たち)が行ったことで誰かが喜び、その喜ぶ姿を見て自分(たち)もうれしい」というような気持ちをもってほしいです。(当番活動、にこにこグループや委員会活動などはそれにあてはまりますね。)

おもちゃ王国での6ヶ月間は、一言で言うと「楽しい〜!」時間でした。

ある時、イベントホールで、私はアルバイトの方数名と一緒にいつも通り、お客様に接する仕事をしていました。そこに社員の方が来られて、「今、社員は先生だけですね。」と言われました。「私は社員ではないんですけど…」と思いつつ、何か「おもちゃ王国の一員」として認められた気がして、とてもうれしかったです。

あれから20年ほどがたちました。おもちゃ王国の各パビリオンや働く人たちは変わったでしょうが、私はおもちゃ王国で働くことで【その後の考えや行動】に深くかわるようなことを多く学びました。校長になった今も、その教えは私の【行動の原動力】になっています。

みなさんに伝えたいことは、【働く】ということは、何も職場体験学習だけではなく、みなさんの身近にある【お手伝い】【学校の当番】なども【働く】ということです。【働く】ことを通して、上に書いているような気持ちをもったり、行動したりできたら、うれしいです。

まずは冬休み、自分ができるお手伝いをがんばってみましょう!

この問題、分かるかな?

はい!!

TVインタビュー中